

令和7年8月19日号

井の頭恩賜公園 花便り



エノキ

ニレ科の落葉広葉樹です。チョウやタマムシなど多くの幼虫の食樹として知られています。江戸時代には道しるべとなる一里塚の目印として街道沿いによく植えられました。花期は4～5月で枝の上部に両性花が咲き、下部に雄花を咲かせます。果実は秋に熟し、多くの鳥が好んで食べます。



サンゴジュ

スイカズラ科の常緑高木です。6月頃、枝先の円錐花序に白い小花をたくさん咲かせます。盛夏には垂れ下がった赤い果実が目につくようになり、晩秋に黒く熟します。花軸まで真っ赤な様子が海の珊瑚に似ています。葉や枝、また幹に水分が多く燃えにくいので防火樹として用いられます。



花便りに関するご質問は井の頭恩賜公園案内所
【TEL:0422-47-6900】までお問合せください